

社団法人日本クラシック音楽事業協会

平成 17 年度事業報告書

(平成 17 年 4 月 1 日より平成 18 年 3 月 31 日まで)

1] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する人材育成 (定款第 4 条第 1 項関係)

- 舞台芸術・芸能見本市 2005 大阪の受託事業として～クラシック音楽文化シンポジウム「クラシック音楽の発展のための課題」を開いた。参加者 50 名。

※クラシック音楽文化シンポジウム「関西の音楽マーケットの復興には？」

日 時 平成 17 年 7 月 26 日 (火) 14:00～16:00

会 場 大阪ビジネスパーク地区 松下 IMP ビル 6 階 D 会議室

料 金 見本市券とセット ¥1, 0 0 0

パネリスト 伊東 順一 (いずみホール支配人)

伊藤 美歩 ((有) アーツブリッジ代表)

笹井 裕子 (びあ総合研究所主任研究員)

コーディネーター 日下部吉彦 (音楽評論家・ジャーナリスト)

- 全国中小企業団体中央会の補助事業「連合会 (全国組合) 等研修事業」として、軽井沢大賀ホールの協力により同ホールに於いて、会員の研修会を開催した。参加者 66 名。

日 時 平成 17 年 9 月 13 日 (火) ～14 日 (水)

会 場 軽井沢大賀ホール 他 (長野県軽井沢町)

料 金 会員のみ 1 名 ¥1 3, 0 0 0 (一泊 2 日)

講 師 大賀典雄 ((社) 全国公立文化施設協会会長)

加藤亮一 (鹿島建設 (株) 関東支店作業所長)

高橋 博 ((社) 全国公立文化施設協会副会長)

武井勇二 (サイトウキネンフェスティバル総合コーディネーター)

白崎徹也 ((財) 地域創造常務理事)

栗林信介 (本会顧問弁護士)

鈴木順子 ((株) 東京国際フォーラム営業部ジェネラルマネージャー)

矢内廣 (びあ (株) 代表取締役会長兼社長) 他

- 神奈川県公立文化施設協議会の平成 17 年度アートマネジメント研修会に本会の佐野会長が講師として参加された。

日 時 平成 18 年 1 月 19 日 (木)

会 場 神奈川県海老名市文化会館

2] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する調査及び研究 (定款第 4 条第 2 項関係)

- 市町村合併及び指定管理者制度の影響により、全国の公共ホールの名称・住所・連絡先等が大幅に変更になっていることから、全国のクラシックに関わるコンサートホールのデータベースを新たに構築すべく、全国約 1400 ホールに対してアンケート調査を実施して情報の確認及び更新作業を実施した。尚、この最新情報については本会で発刊する事業ガイドに掲載するとともに、メールアドレスのデータベースについては平成 18 年度に掛けて構築し、その活用策を研究することとした。

●海外の著作権使用料（実演権）の実態を把握すべく、IAMAに調査の依頼を行なった。

3] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する普及及び啓発（定款第4条第3項関係）

●文化庁舞台芸術国際フェスティバル（IPAF）の企画として、以下の公演の企画制作及び広報告知活動を受託し、音楽文化の振興と発展に寄与した。

※ミュージアム・コンサート

【東京国立博物館】

日 時 平成17年9月10日（土）第1部 開場 13:00～ 第2部 開演 15:00～

会 場 東京国立博物館 本館エントランスロビー

出演者 アジナイホール（馬頭琴）/大倉正之助（大鼓）

料 金 入場無料

【奈良国立博物館】

日 時 平成17年9月10日（土）第1部 開場 13:00～ 第2部 開演 15:00～

会 場 奈良国立博物館 地下回廊

出演者 シャオ・ロン（中国琵琶）/種谷睦子（マリンバ）/カン・ウニル（ヘグム）

料 金 入場無料

【京都国立博物館】

日 時 平成17年9月11日（日）第1部 開場 13:00～ 第2部 開演 15:00～

会 場 京都国立博物館 本館

出演者 ジャン・ジェンホア（二胡）/中野振一郎（チェンバロ）

料 金 入場無料

※特別企画 九州国立博物館開館記念 ミュージアム・コンサート

日 時 平成17年9月23日（金）開演 11:40～

平成17年9月24日（土）開演 12:00～

会 場 九州国立博物館 3階特別展示ロビー

出演者 モン・ジュンファン（中国琵琶）/山形由美（フルート）/荘村清志（ギター）

料 金 入場無料

※アジアのスーパー・ガラ・コンサート 2005～ブラピ!～ピアノとブラスの華麗なる祭典

日 時 平成17年9月27日（火）（大阪公演） 開場 18:00～ 開演 19:00～

平成17年9月30日（金）（東京公演） 開場 18:30～ 開演 19:00～

会 場 ザ・シンフォニーホール（大阪公演）/東京オペラシティコンサートホール（東京公演）

出演者 ピアノ：シュー・ツォン/田部京子/ハエ=スン・バイク/横山幸雄

サクソフォンアンサンブル：トルヴェール・クワルテット

指揮：本名徹次 吹奏楽：シエナ・ウインド・オーケストラ

合唱：ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団（大阪公演）/東京混声合唱団（東京公演）

司会：桂小米朝/八塩圭子 演出：渡壁 輝 構成：新井鳴子 他

料 金 ¥3,500-（全席指定）

※アジアからの留学生によるコンサート～若きアーティスト達による音楽の輪～

日 時 平成17年10月13日（木） 開場 17:45～ 開演 18:15～

会 場 大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス

出演者 日本国内の音楽・芸術系大学に留学中のアジア各国の留学生

料 金/入場無料・要整理券

主催 文化庁舞台芸術国際フェスティバル実行委員会
共催 東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館（各々のミュージアムコンサート）
後援 毎日放送、fm osaka（アジアのスーパー・ガラ・コンサート 大阪公演のみ）
制作 （社）日本クラシック音楽事業協会
協力 （社）日本クラシック音楽事業協会関西地区連絡協議会（関西公演のみ）
東京藝術大学演奏藝術センター（アジアからの留学生によるコンサートのみ）
※本事業に係わる企画制作費については文化庁舞台芸術国際フェスティバルの企画制作として全額委託費によって開催された。

- 財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業に協力して、地域の公共ホールに於けるクラシック音楽普及の一環として、新人アーティストに活躍の場を提供し、地域音楽文化の活性化を促進した。財団法人地域創造からの受託事業として、プレゼンテーションの実施、実施ホールの担当者に対する研修会の一部を受託し、講師の派遣を行った。又、平成18・19年度を期間とする登録アーティストの選考会実施及び演奏家研修会の実施と所属マネジメントの斡旋と登録アーティストプロフィールの作成を行なった。

※平成17年度公共ホール音楽活性化事業（全国24ホールで実施）

北海道深川市、青森県青森市、山形県余目町、宮城県石巻市、福島県会津若松市、茨城県取手市、群馬県富岡市、千葉県市川市、東京都目黒区、静岡県伊東市、新潟県新潟市、新潟県中之島町、愛知県幸田町、愛知県武豊町、岐阜県山県市、滋賀県野州市、京都府舞鶴市、大阪府松原市、奈良県奈良市、長崎県長崎市、長崎県佐世保市、熊本県長洲町、鹿児島県大口市、沖縄県佐敷町、

※平成17年度登録アーティストによるプレゼンテーション

12人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成17年4月19日（火）／会場：三鷹市芸術文化センター

※平成17年度実施ホール全体研修会

実施ホールの担当者に対して開催された研修会に講師・演奏家を派遣した。

派遣アーティスト：田村緑/大森智子 派遣マネジメント：北山絵美/仁科岡彦

平成17年4月18日（月）／会場：地域創造会議室

※平成18・19年度登録アーティスト選考会

平成18・19年度を登録期間とするアーティストの選考会を実施した。

【第一次選考会（音源・書類審査）】

平成17年10月25日（火）／会場：（財）ヤマハ音楽振興会スタジオ

審査員：金洪才、原田敬子、児玉真

応募者107名 第1次選考通過者29名（組）

【第二次選考会（実技・面接審査）】

平成17年12月5・6日（月・火）／会場：津田ホール

審査員：金洪才、原田敬子、野原みどり、加納民夫、広瀬公美子、児玉真、楠瀬寿賀子

第1次選考通過者29名（組） 合格者12名（組）

※登録アーティスト研修会

平成18・19年度を登録期間とするアーティストに対し事業説明及びアウトリーチに対するコミュニケーションスキルを身につけてもらう為の研修会を実施した。

平成18年1月24日（火）

会場：地域創造会議室

参加者：登録アーティスト及びコーディネーター、地域創造・本会関係者 等

- 今年より開始された上記の公共ホール音楽活性化事業の継続サポート事業「公共ホール音楽活性化支援事業」（（財）地域創造の実施）についても、協会として制作協力体勢を整え、平成17年度は全国20ホールで実施した。

●ウェブサイト事業として一昨年より実施している「NEC Navigates Japan's Classical Music Artists」では、ホームページの定期的な管理運営・情報発信を行っており、10月には日本語版ホームページも完成した。現在ホームページに掲載されている邦人アーティストについては、専門委員会選考のうえ、152人を掲載しており、海外の関連機関団体約一万二千件のデータベースを活用し毎月一回定期的な情報をEメールで発信している。ホームページでは毎月4本の「クラシカルミュージックニュース」を掲載し日本の音楽シーンに関するホットな情報を海外に向けて発信している。

●芸術文化都市東京を創ろうネットワークの企画について、企画協力及び公演制作協力を行うと共に、開催日にはスタッフ等人材の派遣を行った。

※「芸術家と子ども達との出会い」フェスティバル 平成17年8月28日(日) 会場:ルネこだいら

※「子どもたちと芸術家の出あう街2006」平成18年3月21日(火・祝) 会場:東京芸術劇場

「子どもたちと芸術家の出あう街2006」～東アジアの琴を聴こう～

平成18年2月26日(日) 会場:江戸東京博物館

●昨年より取り組んでいる新規事業として「着うた」システムの研究分析を進めており、クラシック版での活用がスムーズに図れるかをシステム会社と共に研究しており、加えてチケットセンターの構想について、現在の会員社のシステムの活用が計れるかどうかを併せて継続検討している。

4] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する知的財産権の維持・管理及び保全

(定款第4条第4項関係)

●昨年より活動を行なっている「コンサート・フォーラム・ジャパン」にて、音楽著作権制度の公正な発展と、コンサートに関わる法的整備について関係団体と協議し基準となる事項をまとめるべく活動を実施しており、本年度はコンサート約款のモデル整備を行なった。

5] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する情報収集及び提供事業

(定款第4条第5項関係)

●クラシック音楽事業ガイド2005を編集・発刊した。今年度より発刊時期を4月1日とし、従来のガイドブックに更に広報的な要素も取り入れ充実させて発刊した。また会員社配布とは別に書籍流通ルートを利用した拡販について研究すると共にガイドブックの広告依頼を関連団体に対して行った。又、2006年度の事業ガイドの4月1日発刊に向けて、編集作業を行なった。

●従来より取り組んでいる共同広告の研究開発と共同保険の研究についても継続して実施した。

6] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する内外関係機関等との交流及び協力事業

(定款第4条第6項関係)

●IAMAとの連携強化を踏まえ、11月29日英国のTrade MissionのサポートによるIAMAとの協議がロンドンにて開催され、中山副会長を始め9名の本会代表団が訪問し、日本の音楽事情や今後の事業発展の課題等を協議した。代表団にはサントリーホール原総支配人、レコード協会の今村広報部長らも参加され、二重源泉問題やVisaの手続き簡素化について協議し、改正に向けて今後協力して活動してゆくこととなった。

7] その他本会の目的を達成するための事業 (定款第4条第7項関係)

●平成17年度の会員数は、正会員70会員(平成16年度末)より66会員(平成17年度末)に(この間退会4会員、除名1社、新入会1会員)、賛助会員55会員(平成16年度末)より53会員(平成17年度末)に(この間退会4会員、新入会2会員)なった。このことから、会勢の維持・拡大に向けて、協会の広報兼入会パンフ

レットを刷新し、役員及び委員紹介により分担し平成 18 年度に向けて積極的に会員勧誘を行っている。

- 地方自治法の改正による公共施設の指定管理者制度の導入に向けた動向について、情報を収集し今後の動向を探るとともに、今後に向けた具体的な対策案を昨年引き続き検討している。
- 関西地区連絡協議会では、会員の連携と情報交換を密にするための連絡会を開催しており、昨年に引き続き文化庁舞台芸術国際フェスティバル開催に向けた協力体勢が整えられ、関西地区会員が連携して実施協力を行った。